

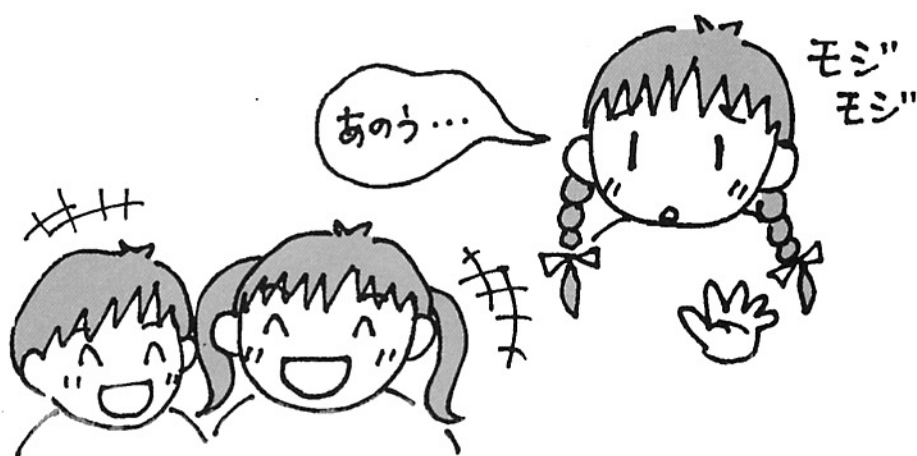
# 友達と遊べない子どもたち



遊びのルールがわからない



すぐカッとして乱暴する



友達に話しかけられない

# あなたのクラスには このような子どもは いませんか？

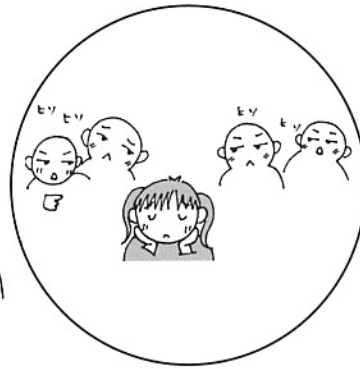
一人で遊ぶのが好き



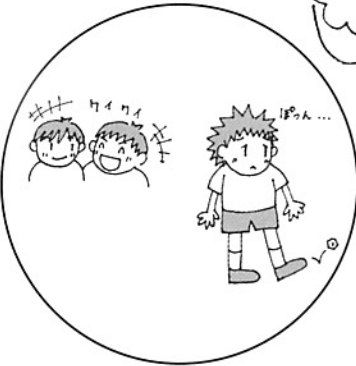
こんな理由があるのかも…

- 一人で遊ぶのが楽しい
- 今、興味のあることがしたい
- 友達とつきあうのが面倒
- 特に友達を求めている
- 社会性の発達が乏しい

どうしよう…



友達から避けられている



一人でポツンとしている

こんな理由があるのかも…

- すぐカッとなり乱暴してしまう
- ルールが理解できず自分勝手な行動をとってしまう
- つばを吐くなど、人の嫌がる行動をとってしまう
- 相手の気持ちを考えず発言してしまう
- 学用品など身のまわりの整理整頓ができない

こんな理由があるのかも…

- 一緒に遊ぶ友達がいない
- 引っ込み思案で友達に自分の思いが伝えられない
- 仲間に入れてもらえない
- 心配事があるって遊ぶ気になれない
- 人前に出ると話せなくなる

## かかわりのポイント①

### 友達と遊べない子どもの気持ちを もう一度考えてみましょう。

「一人で遊ぶのが好きな子」を友達と遊べない子と見るのではなく、子どもの個性として認めましょう。今やりたいことに一生懸命興味を持って取り組んでいると考えてみてはどうでしょうか。



また友達の輪に入っていけず、「一人でポツンとしている子」や、「友達から避けられている子」は、本当は一緒に遊びたい気持ちがあるのではないのでしょうか。

自分でも、どのように働きかけたらよいのかわからなくなっていることが多いようです。先生の手助けがぜひ必要です。

## かかわりのポイント②

### 子どもが興味を持つ遊びを 一緒にやってみましょう。

子どもと同じ目の高さになって一緒に行動することは、子どもの気持ちを理解する上でとても大切なことです。まずは子どもの好きな



遊びを知り、一緒に遊ぶことで、子どもは先生に親密な感情を抱きます。そして、自分の信号をキャッチし、欲求を満たしてくれる先生に好意を持つようになるでしょう。

さらにその中で、子どもの小さな変化を、かかわりを広げていききっかけとして大切にしていきましょう。

#### <参考図書>

日本文化科学社より

- ・LDとは何か…基本的な理解のために…、日本LD学会 編
- ・きみならどうする…LDのためのソーシャルスキル…、上野一彦 編

鈴木出版より (いずれも石崎朝世 編)

- ・落ち着きのない子どもたち…多動症候群への理解と対応…
- ・友達ができにくい子どもたち…社会性の発達と援助法…
- ・多動な子どもたちのQ&A…ADHDを正しく理解するために…